



西桂町



Nishikatsura

VOL.
94

議会だより

西桂中学校 螢水祭



- 議会報告会 2～3
- 監査委員報告 4
- 一般質問（2名の議員が町政を問う） 15～16
- コミュニケーション広場 17
（茶道部）

写真提供：西桂中学校

何をしているの？

第1回 議会報告会開催

議員活動の状況を、直接、町民に報告・説明し、議会活動に対する提言などを聴取する機会として、平成29年7月15日（土曜日）きずな未来館において開催しました。

今回のテーマ

【報告】議会放映の新しい放送方式に至った経緯（渡部議員）

【説明】一般質問に至った経緯

- ①「防犯灯料金の公費負担の検討を」（岩田議員）
- ②「有害鳥獣保護柵延長の考えは」（岩田議員）
- ③「耐震促進施策に最新の＜新・新耐震基準＞を反映すべき」（山崎議員）
- ④「広域的なバス路線の設定における連携の検討は」（中村議員）
- ⑤「警察署管轄変更を」（柏木議員）
- ⑥「スマートインターの供用開始と県道富士吉田西桂線の周辺整備は」（武藤議員）

議会報告会での主な意見

●太陽光発電施設について

【意見】太陽光発電施設が設置された時、事前に近隣住民への説明が無いまま設置され、その後増築された。災害等による補償が心配である。町条例等を作り規制してほしい。

【意見】農地を利用するには農地転用許可が必要だが、書類がそろくと、許可しなければならない。条例については、他市でも検討しているが難しい状況である。

●警察署管轄変更について

【意見】西桂町は富士五湖広域行政事務組合に所属しているので、富士吉田署の管轄の方がメリットが、大きいと思うので賛成。

【意見】富士吉田市の方が良いと思うがアンケートをとったほうが良いと思う。

【意見】警察が大月、救急・消防が富士吉田なので、手続きの面でも、関係官庁は一つの地域にあった方良い。

●その他の要望事項

【意見】西桂町でも「子育て支援条例」を作っていただきたい。子育て世代を支えて、第2子、第3子と増えていくように、議員の皆さんも動いていただきたい。

アンケート及び議会改革特別委員会事務調査報告

議会改革検討特別委員会では、平成29年7月7日に所管事務調査、同月15日にきずな未来館において議会報告会を開催し、9月15日に所管事務調査を開催しました。

《議会放送について》

●見たことがあるか

よく見ている	7 %
時々見ている	23 %
1～2回見たことがある	27 %
見たことが無い	43 %

●見たことがない理由

- ・放送日がわからない …… 69 %
- ・放送時間が長すぎる …… 15 %
- ・その他 …………… 16 %

検討結果：まず見ていただくよう努力する。

《議会報告会について》

●開催場所について

5地区開催が良い	33 %
全地区合同開催が良い	43 %
どちらでも良い	23 %

●開催回数

- ・年1回 …………… 43 %
- ・年2回 …………… 53 %
- ・年3回以上 …………… 3 %

検討結果：年2回の開催とし、12月定例会終了後に開催する。

●一般質問の説明について

よく理解できた	23 %
まあまあ理解できた	73 %
よく分からなかった	3 %

検討結果：今後も継続していく。

●意見交換会について

満足した	47 %
普通	50 %
不満	3 %

検討結果：意見の出やすい環境を工夫する。



町民の安心、安全に十分配慮した 行財政運営を行っていただくことを要望

一般会計賛成討論 柏木 正 議員

一般会計予算額24億2041万5千円に対して、一般会計歳入は、22億4984万8687円、歳出は20億2755万9156円となっています。歳入の決算状況は、平成27年度と比較して2億7569万268円の減額で、対前年度比10.9%の減少となっています。「きずな未来館建設」が終了し、一般会計予算が大幅に減額及び繰入金の影響により、自主財源比率は33.87%で前年度より0.22ポイント減少しています。

後も引き続き努力していただくようお願いいたします。

歳出の状況は、平成27年度に比較すると3億6437万6240円の減額で、対前年度比15.2%の減少となっております。

物件費等の経常支出は増加している中で、効率的・効果的な行財政運営を全庁体制で進めていただきたいと思っています。

近年では、地震や豪雨による災害が日本各地で発生しています。西桂町も例外ではありません。町長始め職員には、限られた予算の中で、住民の安心、安全に十分配慮した行財政運営を行っていただくようお願いをし、平成28年度西桂町一般会計、歳入歳出決算認定について、賛成討論いたします。

全職員が一枚岩となり、 健全な行財政運営の取り組みを

監査委員報告 荒井義光 代表監査委員



審査の結果、各会計の歳入歳出決算書、及び、付属書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても、関係諸帳簿等と符合し正確であると認められた。また、基金の運用状況並びに、事務処理についても適正であると認められた。

年度の町の重要な財源である町税は増加しているため、引き続き全庁をあげて、徴収率の向上に取り組むと同時に、今後の中長期的な視点に立ち、自主財源確保の強化と行政サービスの向上に傾注されたい。

実質収支比率は、0.51ポイント上昇しており、収支の実態把握に努め適正な財政運営を行なっていたいただきたい。また、経常収支比率も83.3%であり、経常経費の抑制に留意すること。その厳しい財政状況の中、補助金対象の事業の取り組みや、有利な起債を選択する等、財源確保に注視しながら各種事業を計画的に展開していることは大いに評価できる。

引き続き、有効な補助金等を活用しながら、事業の執行を願う。歳入においては、人口減少問題や不安定な国際情勢に伴い、景気は依然不透明であるが、平成28

重点的に住みよいまちづくりを実施 (中央道跨道橋撤去・有害鳥獣防除事業など)

物件費

10万9555円
(4億8708万円)



一般事務経費、臨時職員賃金、業務委託費等

その他

7万5877円
(3億3735万円)

繰出金、維持補修費、
積立金、出資金・貸付金

人件費

7万9654円
(3億5414万円)



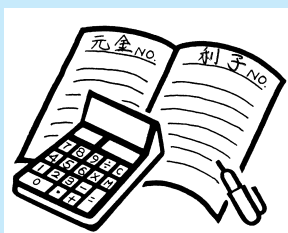
主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

町民一人あたり
このように使われました
45万6050円

平成28年度
一般会計決算総額
20億2760万円

公債費

3万9852円
(1億7718万円)



毎年度、償還すべき町債
の元金、利息

投資的経費

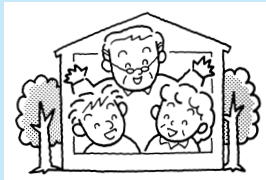
4万4148円
(1億9628万円)

建物の建設、
道水路整備、
大型備品の
購入



扶助費

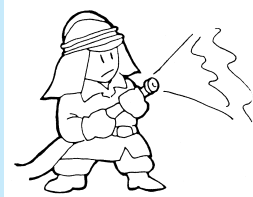
4万5394円
(2億182万円)



施設措置費、各種福祉手当
医療費手当等

補助費等

6万1572円
(2億7345万円)



他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

※()内は平成28年度決算額です。

※一人当たり額はH29年4月1日現在人口4,446人で割った額

■基金(貯金)一人あたり残高 37万9690円
〔16億8810万円・昨年度より2235万円減〕

■地方債(借金)一人あたり残高 69万8196円
〔31億418万円・昨年度より1億2168万円減〕

※左記の額は一般会計及び特別会計の額です。

※地方債(借金)残高には、交付税算入基礎額として
後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、
全てが借金とはなりません。



小林町長 行政報告

公共施設の相互利用の 連携・促進へ

平成29年度予算を円滑かつ着実に実施する事が重要となっており町民の安全、安心を確保するため、引き続き緊張感をもって、万が一の事態に備え初動体制の確立、住民への周知などに取り組んでまいります。

「参画と協働によるまちづくり」

西桂町協働事業提案制度につきましては、町民グループと企業が提案した7案件を採択し、事業が行われたところであります。

また、地域おこし協力隊員が企画した「桂川河川清掃事業」においては、大きな成果を上げることができました。今後もこ

「公共施設の相互利用」

の事業が桂川流域に大きく広がるよう継続して取り組んでまいりたいと考えております。

小さくてもできる安全で豊かな暮らし「コンパクト・セーフティータウン西桂」を目指すため、当町と富士吉田市では、公共施設相互利用協定を

締結いたします。当町では「三ツ峠グリーンセンター」、富士吉田市では、「富士五湖文化センター・富士吉田市民会館」を対象施設として、平成30年1月から相互利用を開始いたします。運用後、両市町を対象施設の拡充と富士五湖広域行政事務組合構成市町村全域での運用となるよう推進してまいりたいと考えております。

「地域防災の推進」

8月26日に東海地震の災害を想定した総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練は、地震発生時に自身を守る「シェイクアウト」訓練、要支援者の確認・支援訓練、被災現場の画像を対策本部等で共有する「災害対応管理システム」運用訓練を中心に、日赤奉仕団の炊き出し訓練、中学生による避難所体験訓練や児童引き取り訓練、消防団による放水訓練を実施したところであります。

また、富士山噴火対策のため、8月16日から、長崎県の雲仙普賢岳にある国土交通省「雲仙復興事

務所」の視察を行ってまいりました。今回の視察では、土石流対策としての堰堤工事や災害予知時の行政が発令する避難指

示など、ハード・ソフト両面での防災体制が重要であることを痛感いたしました。



「公共施設相互利用協定書」の調印式（10月2日）



雲仙普賢岳の土石流による被災状況を視察

「保健・医療の充実」

特定健診の受診率向上のため、3年間の受診率が悪かった地区をモデル地区とし、戸別訪問し、検診、健康寿命の重要性を説明し受診率向上を図りました。

「子育て支援の推進」

きずな未来館2階に設置いたしました子育て支援センターで「情報の提供や相談・助言」に力を入れて行っております。保育所においては、今年度から体操教室を月2回、年長・年中児に東海体育指導員により指導を

「地域福祉の充実」

していただいております。今年度はこの成果を少しでも見ていただこうと運動会に取り入れていく予定でおります。

昨年度実施したニーズ調査を基に現在、高齢者保健福祉計画、及び介護保険事業計画、また障がい者福祉において、現在アンケート調査を実施し、障がい者計画並びに障がい福祉計画の見直しを進めております。

8月17日から8月31日まで武蔵野大学の学生による高齢者世帯訪問調査を実施し、成果発表会で提案プレゼンテーションを行いました。この成果発表の内容も、当該計画に反映し、策定していきたいと考えております。

また、いきいき健康福祉センターは、本年4月よりワーカーズコップによる指定管理業務が開始され、事業所名を西桂地域福祉事業所「ばいかも」

「緑と水に親しむ空間の形成」

とし、利用者登録の中には障がいの方も含まれ、障がい者総合支援法による「基準該当サービス」をいち早く取り入れ、障がい福祉サービスも提供しております。

7月29日、富士山クリン作戦の一環として実施いたしました三ツ峠登山道及び三ツ峠グリーンセンター周辺清掃活動には、総勢180名の方にご参加をいただきました。今後とも地域と一体となつて、清掃や環境美化の啓発活動に取り組んでまいります。

「商工業や観光等の振興」

8月15日に開催した三ツ峠ふるさと夏まつり2017は、約3,000人のご来場をいただき、夏の恒例行事として町内外の方に広く定着している

「水道・下水道事業の推進」

行事であることを再認識いたしました。これからも西桂の情報発信を図り、町民の連帯感と今後の町づくり推進機運が醸成されるよう商工会と協力する中で取り組んでまいりたいと考えております。

第2処理分區、上町地内において3つの工事を施工しており、そのうち第11・2工区の小学校給



大勢の方に参加していただいたクリーン作戦

食センターからプールまでの工事は6月下旬に発注し、8月までに完成いたしました。また、第11・3工区の渡戸商店前から揚坂までの延長工事は7月下旬に発注し、12月上旬完成予定。第12・3工区の教員住宅周辺3本の工事は8月下旬に発注し、年内完成予定で進めております。また、水道事業につきましても、下水道工事に合わせそれぞれの地域で水道取出し工事を予定しております。

平成28年度一般会計決算

9月定例会

9月定例会は平成29年9月8日に招集、同日に本会議が開催され19日間の会期を決定。その後、会期中に各常任委員会審査会が開催され、26日の本会議での採決をもって閉会いたしました。

町長より条例1件、その他議案1件、補正予算2件、決算認定7件、計11件が原案のとおり可決・認定されました。

一般会計決算

●主な委員質疑、歳入

問 町税は、3、4年前から比べると徴収率が上がっているが、収入未済額をいかに減らすかが課題だと思う。滞納整理に取り組んでいる結果も出ているが、1900万円の収入未済に対する取り組みは。

税務住民課長 滞納整理機構と連携をとりながら、職員が対応した結果、昨年度より徴収率が上りま

した。預金及び生命保険調査に重点を置き、差し押さえ等を行いました。固定資産税については、死亡者課税等の問題もあり、今年度、機構の中で課題として取り組んでいます。担当を代えるなど、個人負担を軽減し、税務担当職員全体で協力しながら滞納整理を行っていきます。

問 転入者が、保育所の入所を希望したが、いっ

ばいで、一時他の保育園へ行ったという話があった。保育所の受入れ体制は。

町長 園児の数を把握しながら、翌年度の人的体制、予算等を立てています。転入者などの場合、待つこともありですが、西桂保育所に入所できるよう努力していきます。保育士については、余裕をもった体制が必要と考えています。

問 徴収事業、コンビニ4,000件だが、コンビニ二納付が来年度も増えていくのか。

税務住民課長 今後も増えていくと見込んでいます。

問 コンビニ収納のPRは。

税務住民課長 納付書の中にコンビニ納付のお知らせを同封しています。夜間や早朝など利便性のある制度なので、周知していきます。

問 民生費、婦人会補助

金について、メンバーの人数は。

福祉保健課長 昨年度の名簿には31名、今年4月の総会で婦人会自体が廃止となっています。

問 タクシー利用料金補助について、今後の展開は。

福祉保健課長 今後は、タクシー券の利用範囲や利用者の利便性を図りながら、要綱等を見直し、より使いやすいものにしたと思います。

問 デマンドバスというものを考えているか。

町長 タクシー券について



補強・補修工事が終了した桂大橋

歳入総額 22億4985万円
歳出総額 20億2760万円
差引き額 2 億2225万円



避難集合地等に活用されるポケットパーク（下暮地地区）

では、30年2月で2年になり、利用者の動向もつかめていくので、平行してデマンドバス、ワゴンなどを検討していきます。

問 ゴミステーションの規格は統一されているか。地区に合った統一性

を指導するべきでは。
産業振興課長 地区の状況をみて検討していきま。経費の問題もあるので、金額についても検討していきま。

問 住宅用太陽光発電は、経年劣化が進むと廃

棄等も問題になるが、今後の取り組みは。

産業振興課長 大規模な太陽光発電が各地に設置されていますが、解体等については、県の指導を受け、監視、監督していきま。

建設水道課長 太陽光発電設置に関しては、土砂災害防止法、農地法などの法律でしか縛りがありま。廃棄が出たときも、設置に関しての縛りが無い以上は、取り外し、廃止に関しての縛りもないと思われるので、国の法律に則した対応をしていきたいと思いま。

問 将来的に問題がでてくると思うので、調査研究をお願いしたい。

産業振興課長 太陽光発電システムについては、産業廃棄物になるので、適正に処理するよう指導していきま。

問 橋りよう維持補修事業について、現在の橋の状況は。

建設水道課長 橋りよう長寿命化計画については、

町内12橋の補強補修計画を平成23年度に策定し、安全の確保やコストの削減を目指し、平成24年から37年度の14年間で耐震補強を含む長寿命化を行っています

問 ポケットパーク整備事業について、所有者からの申し出が、行政サイドの選定か。

総務課長 区長会議の中で推薦を行っています。町の考えとしては、町道に接しており、避難路として利用されているところで、地震等の大規模災害が起きた時に、その家屋が崩れて避難路を塞ぐ等が予想される家屋について除去し、同時にその場所が避難集合地等に活用できるところの推薦をお願いしています。

問 避難場所以外の利用方法も考慮し、設置してはどうか。

総務課長 基本的に10年間無償借用する中で、屋根等を設置する場合は、基礎工事等も必要になるので、簡易な、いす・テ

ブル等を設置していきま。

問 防災力強化及び自主防災組織強化補助金についての内容は。

総務課長 防災力強化補助金は、備蓄品等です。防災倉庫等の設置に各地区で使っています。組織力強化補助金については、各地区の要支援者地図作成や、要支援者に対する声かけなど、毎年、地図及びふれあいカードを作成しております。

問 今後、自主的な活動についての補助金などの受入れはできるか。

総務課長 地域づくりなどについては、町協働事業提案制度があるので、総務課へ相談をお願いしま。

意見 AEDを各公民館へ設置しては。



平成28年度 6 特別会計決算

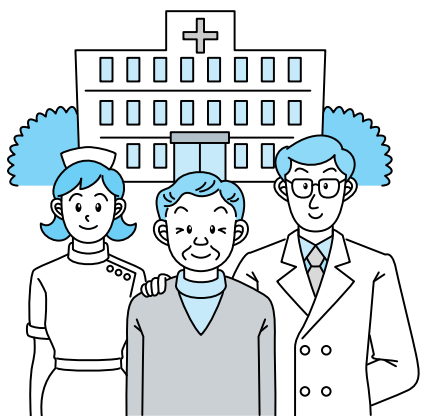
国民健康保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 国民健康保険税の収入未済額が約2340万円、収納率が82.6%だが、今後の見通しは。

税務住民課長 滞納整理機構と連携し、差し押さえ、預金調査を行っており、滞納繰越分については、昨年度よりも状況が改善しています。出来るだけ現年度分を徴収し、滞納繰越の無いように、今後も収納していきます。見通しについては、現状の税率を下げない努力をしていきます。

意見 住民から昨年度の



国保税が急に高くなったが、申告をしていなかった。0円でも申告をすれば、軽減措置が受けられるということでも半分以下になったと聞いた。そのような人も収入未済に入っているかもしれないので、申告するよう周知をしてほしい。

問 実質収支で7012万円とあるが、29年度への繰越となるのか。

税務住民課長 平成30年度に制度改正があるため基金に繰り入れずに繰越金としました。

介護保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 指定管理者のワーカーズコープの運営状況は。

福祉保健課長 昨年度末の3月で社協運営のデイスサービスが終了し、今年の4月1日からワーカーズコープ「ばいかも」の運営が始まり、当初、利用者もほとんどいない状況で、厳しいスタートでしたが、現在デイスサービス15人、居宅3人、ケアマネのサービス計画相談は支援2人、サービスは7人、現在は利用者も増えてきました。高齢者だけでなく、障がい者も受け入れており、2名の利用があります。

問 基金積立金が前年に比べて2000万円の減となっているが理由は。

福祉保健課長 要介護3が17人増、要介護5は5人増となっており、居宅介護や施設入所した場合、一人当たり年400万円から500万円かかります。



認知症サポーター養成講座

す。特別会計の支払いに影響があるため、基金には確実な1000万円のみの積立としました。

問 支出をみながら決めるのではなく、目的を持って積み立てるので、ある程度決まった金額を積み立てるべきでは。

福祉保健課長 介護保険

基金は3年に一度取り崩しをしています。毎年当初予算で目標額を計上していますが、介護特別会計の収支状況から予定通りいかない場合があります。今後は3年間でどのくらい積み立てるか、計画性を持ちながら考えていきたいと思っています。

平成28年度6会計決算額

全員賛成

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
国民健康保険特別会計	5億5381万円	4億8369万円	7012万円
後期高齢者医療特別会計	7466万円	7465万円	1万円
介護保険特別会計	3億3693万円	2億9783万円	3910万円
介護予防支援事業特別会計	99万円	91万円	8万円
簡易水道特別会計	5982万円	5794万円	188万円
下水道特別会計	1億8187万円	1億7861万円	326万円
合 計	12億0808万円	10億9363万円	1億1445万円

(1万円未満四捨五入)

簡易水道特別会計決算

●主な委員質疑

問 施設管理経費に計上されている業務委託の内容は。

建設水道課長

休日の維持補修当番業務委託、施設計装設備点検業務委託、漏水調査委託及びデジタルマッピング業務委託の3本です。

問 漏水探知機を購入して、漏水調査委託が別に計上されているか。

建設水道課長

漏水調査

下水道特別会計決算

●主な委員質疑

問 受益者負担金の収入未済額の徴収はいつまで行うのか。期限は。

建設水道課長

受益者負担金は12年半賦課します。途中で接続すれば負担金は減額します。平成30年度には、認可区域になつてから12年半が経過する未接続者もいるため、満期になる前に接続すれば半額戻つてくるといくことを周知します。なお、未

問 水道当番業務を行っている業者数は。入札に入っているのか。

建設水道課長

13社で、入札に参加している業者とそうでない業者があります。

接続の人に対しては、新築等で下水に接続するので、その際に全額納めていただきます。

問 国道隣接区域の下水道整備はいつか。今後の計画は。

建設水道課長

今の事業計画では未定で、平成32年度までの事業計画がありますが見直しを行い、平成33年度以降も引き続き整備を継続していく予定です。

問 予算書や他会計でも同様だが、積立金と表示されているだけで、何の基金への積立金かわからないので、改善を図ってどうか。

総務課長

県下自治体の共同事業で行っている財務会計なので、表示できるか検討をしていきます。



漏水探知機を使った漏水調査

平成29年度一般会計補正予算(第3号)

問 土木費、道路橋りょう費に計上された工事は、倉見区要望とのことだが。

建設水道課長 空き家を町道側に移動させるため、町道側の石積みを改修してほしいと要望がありました。区長を通じて区

の要望書を受け、今回の補正計上となりました。県道拡幅に伴うため、町としても事業執行を予定しました。

問 空き家対策の中の柿園地内測量設計について280万円計上されたが、6月議会の時にも柿園地区の空き家造成分譲工事800万円ほど計上されています。今回の登記委託、測量設計委託に至るまでの経緯の説明を。

総務課長 今回の経費は、隣接する分の測量、設計です。現在交渉中で書面による確約を得たところ測量に入る状態になったので、計上しました。

問 柿園分譲地について

桂川沿いに大きなケヤキがあるが、どのような処理を考えているのか。

総務課長 ケヤキについては10本以上あり、地権者と伐採も含めて交渉中です。

問 ケヤキは大木だが、伐採の際に護岸が心配だ。伐根まで考えているのか。

総務課長 伐根は不可能です。根が現れている部分もあり、県に護岸改修を要望しているところですよ。

意見 要望書というかたちで、県に強くお願いしてほしい。

問 交通安全対策費に力イブミラー2基とあるが、上町区の設定箇所は。

総務課長 浅間団地付近の、県道との交差点で面ミラーの設定を予定しています。

問 教育費に記念事業負担金が計上されているが、負担金支出の基準があるか。

総務課長 今回は、道志村を含めて広域6市町村と吉田恩賜林組合で負担をしています。要望の半分、20万円を上限として負担することとしました。過去に負担金を支払った同様の事例はありません。

問 今後、同種の要望があると思われるので、基準を決めておいた方がよいのでは。

総務課長 20万円を上限としていきたいと考えています。

問 児童福祉総務費の第2子以降に出生祝金を支出したとのことだが、昨年度の実績は。

福祉保健課長 第2子が7人、第3子が7人、計14人です。

問 今年度の予定は。

福祉保健課長 第2子が9人、第3子が6人の予定です。

平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

●主な委員質疑

問 退職者医療関係繰越金の説明を。

税務住民課長 20年以上

働いてきた、社会保険の人を一般被保険者と区分して退職被保険者といいます。平成28年度からの繰越金7012万円のうち、約160万円が退職者被保険者分となります。



伐採予定のケヤキ

平成29年度一般会計補正予算(第2号)

●主な委員質疑

問 電気柵設置事業について、補正後の延長、増額の理由は。

産業振興課長 当初は184mの県補助対象事業として予算計上いたしました。

したが、長谷川綿行から富士アケアまでの190mの間を実施しなければ効果が薄いため町単で行うことといたしました。

意見 今後は当初から見通しを立てた予算計上を。

工事委託変更契約の締結について (溝上橋及び月夜ノ平橋撤去工事委託)

●主な委員質疑

問 変更増減をみると負担割合が変更になっているが、ネクスコ中日本で配慮したのか。

建設水道課長 全体事業費に占める町の負担割合が約1%下がるよう配慮していただいたものと思っております。

7月臨時会

7月臨時会は、平成29年7月28日に招集され、同日に本会議、各常任委員会審査会、所管事務調査を行い、1日間の会期をもって閉会いたしました。議案1件、補正予算1件が提出され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり可決されました。

調査事項

西桂町武道館 改修工事の 概要について

●主な委員質疑

問 クライミングの際の安全対策はどうするか。

教育長

クライミングウオール下に高さ30センチメートルのマットを引いて安全確保し、使用の際には、必ず指導者を配置していく考えです。また、未使用時はマットを分割して壁に固定します。

問 カバー工法により屋根を設置することだが、その耐用年数は何年か。

設計業者 カラーガルバリウム鋼板のカバー工法で20年以上です。

問 クライミングウォールのホルドの位置の変更はできるのか。

設計業者 クライミングウォールに数多くの穴をあけており、可能です。

9月定例会・条例改正

賛成全員

条 例 名	主な内容
富士吉田市との公共施設の相互利用の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	富士吉田市との公共施設の相互利用の実施に伴い、「西桂町三ツ峠グリーンセンター交流促進施設の設置及び管理に関する条例」「西桂町武道館の設置及び管理に関する条例」「西桂町三ツ峠ふれあいコート」の設置及び管理に関する条例」「西桂町三ツ峠フットサル場の設置及び管理に関する条例」の一部改正

平成29年度補正予算額

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
平成29年度一般会計補正予算(第3号)	1725万円	21億4011万円
○歳入 国・県支出金及び、平成28年度からの繰越金を充当 ○歳出 観光費・桜植栽経費、土木費・町道拡幅工事、住宅費・分譲予定地測量設計経費		
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	34万円	5億1902万円
○歳入 一般会計からの繰入金及び、平成28年度からの繰越金を充当 ○歳出 国保団体連合会と福祉医療システムのデータ連携を行なうためのシステム改修費		

(1万円未満四捨五入)

議会に届いた請願書と処理状況

賛成全員

下記請願は採択と決し、平成29年9月26日付けにて、請願の趣旨に基づき関係機関に意見書を提出いたしました。

件 名	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請 願 者	南都留地区PTA協議会、南都留地区公立小中学校校長会、南都留地区公立小中学校教頭会、山梨県教職員組合南都留支部
請願の要旨	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充が図られるよう、国の関係機関に意見書を提出すること

議員活動報告

山梨県町村議会 広報編集委員行政視察

議会広報編集委員行政視察

8月23日から24日に、石川県河北郡内灘町議会に山梨県町村議会広報編集委員行政視察に、行って来ました。

内灘町の「うちなだ議会だより」は、議会と町民との情報の架け橋であり、

相互信頼を培うためとの

考えから、まず「読んでも

らえる議会だより」を念

頭に、常に、読者目線での

編集をモットーに取り組

んでおり、町村議会広報

全国コンクールに16回入

賞しています。

そのために心がけていることは、余白をとる、人物をのせる、新規事業を

クローズアップする、住

民に分かり易くするため

に一般質問の「質問」と

「回答」は問と答の整合

性をとっています。「入賞

はうれしいが、奢らず住

民目線で紙面を作ってい

きたい。」とのことでした。

今回の行政視察では、

積極的に質疑などもおこ

なわれたのでこれらを参

考に、西桂町議会だより

も、住民に親しんでいた

だけるよう、住民に写真

提供をお願いするなどさ

まざまな工夫をし、町民

の皆様が参加できる、議

会だよりをめざし、議員

自ら編集・レイアウトを

行なっています。議会

だよりで取材の際は是非

ご協力をお願いいたしま

す。

議員活動報告

西桂町総合防災訓練に 参加しました

西桂町総合防災訓練

8月26日に「西桂町総合防災訓練」が行われました。

平成28年9月に「西桂町議会災害対策室」を設置することを決定した

後、初めての訓練でした。

当日は、地震発生後、役場に設置された対策室へ、

徒歩での参集訓練を行いました。

地震や台風等の

災害及び、発生の時間に

より、想定される被害に

ついて、また、町対策本部

との連携などについて協

議し、各地区の防災訓練

に参加し、各公民館から

避難所である小中学校へ

移動しました。

中学校へ向かう途中、

いきいき健康福祉センタ

ーのダンボール簡易間仕

切りで区分けされた、要

援護救助者のための福祉

避難所を見学しました。

間仕切りのスペースの確

保等、日ごろから支援

者のニーズを把握するこ

とが重要だと思いました。

避難所では、中学生が

参加し、救護訓練が行わ

れていましたが、一般の

方の参加が少ないように

思いました。また、男女共

同参画の観点から、訓練

時から女性の更衣室や授

乳室などのスペースに配

慮することや地震防災だ

けでなく、火山噴火、水害

などを想定した訓練も必

要だと思いました。



議会広報編集委員行政視察



3階に設置された西桂町議会災害対策室



一般質問

瀧口幸男 議員

問

急いで地方創生・子育て支援の新たな施策と拡充について

答

「子育て支援のまち」を積極的にPRしていく

瀧口議員

地方創生の一環として子育て支援の拡充と新たな施策について、お伺いいたします。

①子ども医療費無料化を18歳まで拡充を。

②子育て家庭支援のため紙オムツ助成券交付を。

③高校生の通学補助を。

④小学校のトイレの洋式化を。

⑤住宅弱者、シングルマザーへのサポートを。

⑥保育所、小学校の子ども達が急病になった時、看護師が保護者に代わって迎えに行く制度確立を。

町長

①来年度に向け財源の確保等を十分に判断する中で、前向きに検討したいと考えております。
②乳幼児期の経済的な負担を軽減するため、対象範囲や乳幼児を抱える世帯への利便性を考慮

し、調査・検討していきたいと考えております。

③県の施策や近隣他市町村の動向等を見て検討したいと考えております。

④平成25年小学校の要望により和式便器を残す中で洋式への改修を行いました。時代の変化により子どもたちの生活形態が変わっておりますので、学校と協議し、対応してまいります。

⑤ひとり親家庭には様々な支援があり、現在市町村を窓口にも福祉事務所が支援を行っております。町では必要なサービスが提供できるように、サポートに努めてまいります。

⑥保護者の負担を軽減するため、病児保育施設に依頼をするともに、看護師を保育職として採用したいと考えております。

広報やホームページ等を活用し、「子育て支援のまち」を積極的にPRしてまいりたいと考えております。

問

孤立する高齢者及び一人暮らしの人達に対する支援サポートについて

答

自助・共助・公助が連携しあう体制作りを推進

瀧口議員

孤立する高齢者及び一人暮らしの人達に対する支援サポートについて、お伺いいたします。

町長

この問題を解決するためには行政だけではなく、地域住民の力が必要だと思っております。最も大切なのは地域で支え合う「地域力」を養うことであり、孤立する高齢者を出さないように地域ぐるみでの関わりが重要であると考えております。

一人暮らしの方には、民生委員による「一人暮らしの高齢者見守り訪問」、緊急通報システム「ふれあいペンダント」事業を実施しています。

認知症の方には、包括支援センター保健師等が、随時必要な介護サービス及び支援を提供しております。そのほか、町では認知症サポーターの養成講座を実

施しております。認知症サポーターの登録者数は中学生を含め、今後更に増員を計画し、支援者の拡充を図り、家族に認知症の方がいても安心して生活が送れるよう努めてまいります。

西桂町「ちよつと気がかり」ネットワーク事業を展開し、「気づき」に重点をおき、ちよつとした異変をすばやくキャッチできるようにし、町民向け強化をしているところでございます。

今後は、より地域住民が主体の「地域力」「地域コミュニティ」が、孤立する高齢者を発生させないために、自助・共助・公助がそれぞれを支えあう体制作りを推進してまいります。



一般質問

山崎泰洋 議員

問

桂川清掃活動について

答

環境美化意識高揚に繋げる支援を展開したい

山崎議員

8月19日、桂川清掃が実施され、町内外約100名の方が参加し、環境問題への取り組みとして、大きな成果がありました。

今後は、どのような施策をお考えですか。

町長

桂川清掃活動については、昨年4月西桂町地域おこし協力隊に任命した寺田哲史隊員が、この地域での活動や自然とのふれあいの中で、西桂町を含む富士北麓・東部地域の水路や湧水のすばらしさに魅せられました

が、河川にゴミが散乱し活用されていない状況にあるため、今回の事業を企画し、町協働事業提案制度を利用し、町、町民、桂川関係機関、釣人に呼びかけ実現しました。

今後の展開については、桂

川・相模川流域協議会等が個々に行っている清掃活動とマッチングさせるなど全域での活動に発展させるとともに、桂川に流れ込む小河川への環境美化意識高揚に繋げ、地域資源としての活用に大いに期待するところで

す。

安全対策については、河川管理者である、山梨県に対し景觀に配慮した安全対策をお願いを引続き要請してまいります。

山崎議員

今回の清掃活動で回収した川岸に散乱しているゴミは台風や豪雨などにより水量が増加し、普段流れていない所に水が流れて、その後に水量が平常に戻る際に取り残されたゴミを回収したにすぎません。不法投棄されたゴミは、毎日河川を流れています。農業用小沼用水は桂川より引き込み、柄杓流川に流入しています。そこにはペットボト

ル、空き缶、発泡スチロールトレイ、カップ麺の器、タバコの吸殻、大量の草がいつも流れ着いています。時には鍋、紙おむつ、ガラス瓶、スニーカー、タオル、レジ袋に詰めた丸ごとのゴミなどもあります。毎日、不法投棄されたゴミが町内の河川をとり柄杓流川に流れ込み、蓄積されている訳です。この問題を解決するには、ゴミを捨てない様に

動をきっかけに西桂町においても、積極的にこの問題に取り組むべきと考えますが、いかがでしょうか。

町長

河川のゴミ等の環境問題は、継続的な河川清掃活動と徹底した住民周知が、環境美化意識高揚に繋がると考えておりますので、引続きこれらの活動に支援をしていきます。

ということです。この点を改善しない限り河川のゴミ等の環境問題は解決しません。この問題は、非常に難しく短期的な解決はできませんが、今回の清掃活

また、町内には桂川、柄杓流川から開削された農業用水路が多数ありますが、これをクローズアップし、「水の町西桂」を標榜してまいります。



河川に不法投棄されたゴミ

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その70



茶道部の皆さん

訪問先

西桂町文化協会
茶道部

代表：牛田すみ恵

取材日：10月4日
渡部議員、武藤議員

問 団体名は。

皆さん 西桂町文化協会

「茶道部」です。

問 先生のお名前は。

皆さん 牛田すみ恵先生です。

問 参加者は。

皆さん 教育委員会で募集があつた社会学級に申し込みをした人です。

問 活動内容は。

皆さん きずな未来館で、毎週水曜日、午後7時30分から行っています。先生を含めて11名です。茶道を学び町民に広める、楽しんでもらうことを目的に活動しています。

問 現在、取り組まれていることは。

皆さん 町民文化祭で来場者にお点前を披露するために日々、お稽古しています。毎年来てくださる方もいますので、とても楽しみです。

問 町民に望むことは。

皆さん お稽古では、季節の移り変わりを感じる事ができ、日々の忙しさを忘れ、心が落ち着き、リフレッシュできます。

興味のある方は、ぜひ、茶道教室に参加してください。



結構なお点前で・・・

中学校蛍水祭 を見学しました。



開催日：9月9日・9月10日 [写真提供：西桂中学校]



3学年、グレート・ティーチャー・かつ造
～挑戦、夢のスタートライン編



宣誓！！
西中魂、ここにあり

息をあわせて、
イチ、ニ、
イチ、ニ！



The ム・カ・デ (ムカデ競争)



2学年、葉っぱのフレディー



発行責任者	西桂町議会議長	小山 正則
編集委員長	渡部 保	
副委員長	勝保 豊一	
委員	武藤 隆義	
委員	柏木 正	
委員	岩田 裕展	

議会の傍聴をお願いします。
次回定例会は12月上旬です。
詳細は12月2日頃、
ホームページにて公表します。



1学年、真夏のサンタクロース